

有限会社精工パッキング

有限会社
精工パッキン

昭和46年創業
平板打ち抜き加工業

この手動
打ち抜き加工機で
説明します

我が社は
ビクトリア型による
平板打ち抜き加工を行つてあります

どんな材質の型抜きにも挑戦!
～ビクトリア型による平板打ち抜き加工技術～

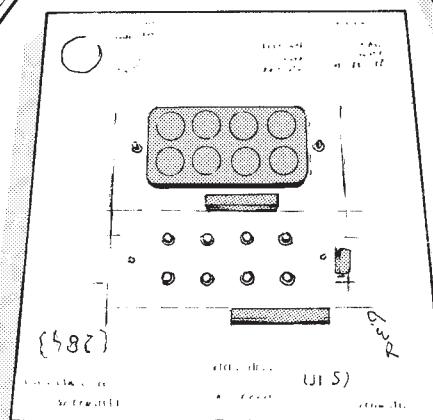
有限会社 精工パッキング

作 桂田 健治

しゅうめい
平井 秀明社長

刃加工する形に
ベニヤ板に
うめこまれて
います

これが
ビクトリア型です



ビクトリア型を取り付け打ち抜き加工機に



打ち抜く！

レバーをひき

保護する素材を板をあておき

加工する素材を乗せ

ビクトリア型は成型で使う金型と違い製造コスト・修理コストが安く済みます

小ロットの注文にも対応できます

また軽くて扱いやすく

できあがった加工品

ビクトリア型の型屋さんとは常に連携をとつてます

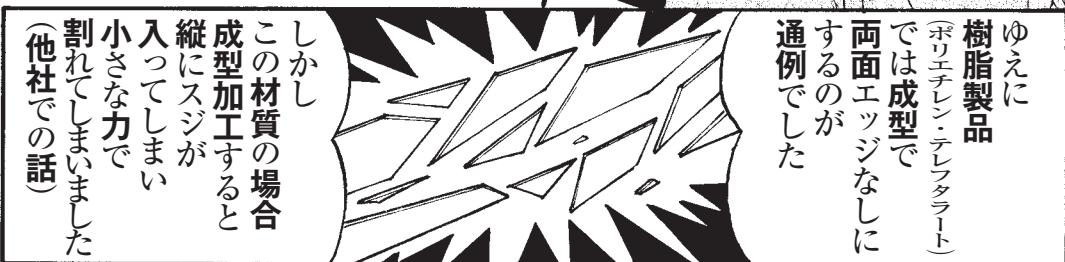
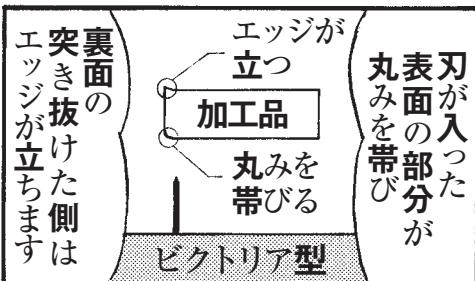
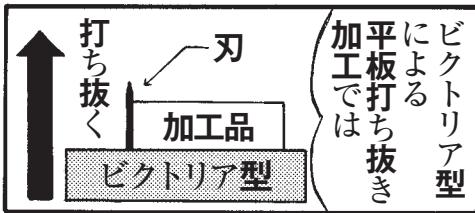
なまりざなマトリクス型を保管

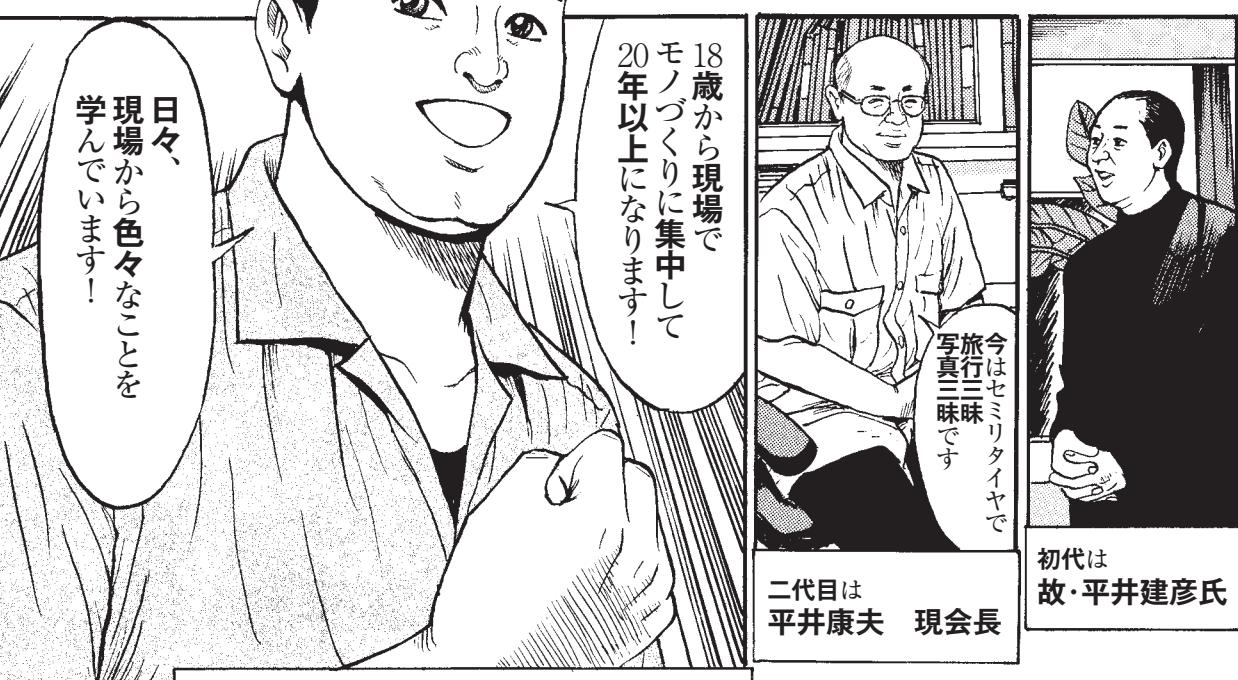
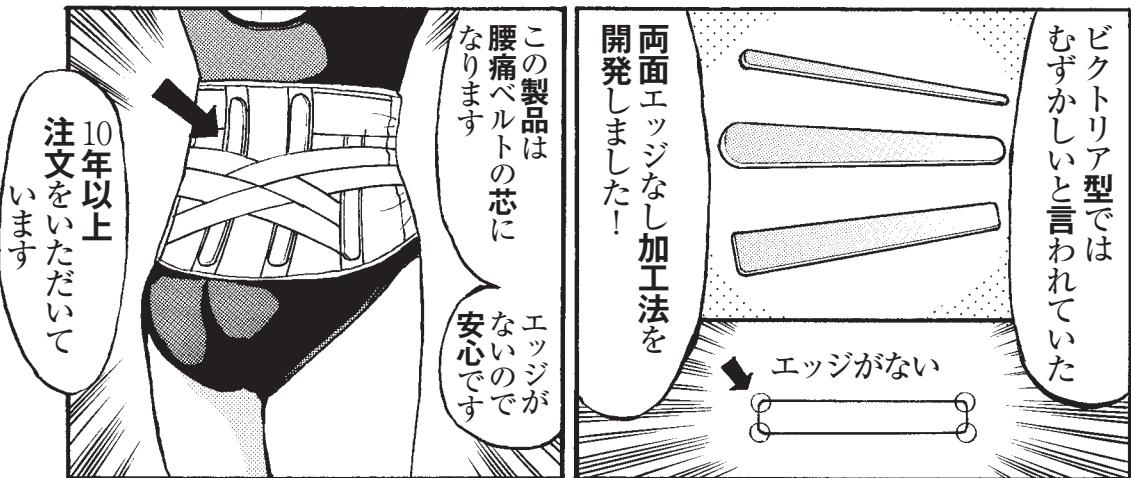


より細やかな要望にも対応できるようになりました

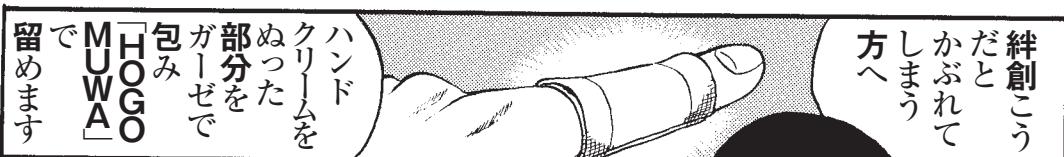
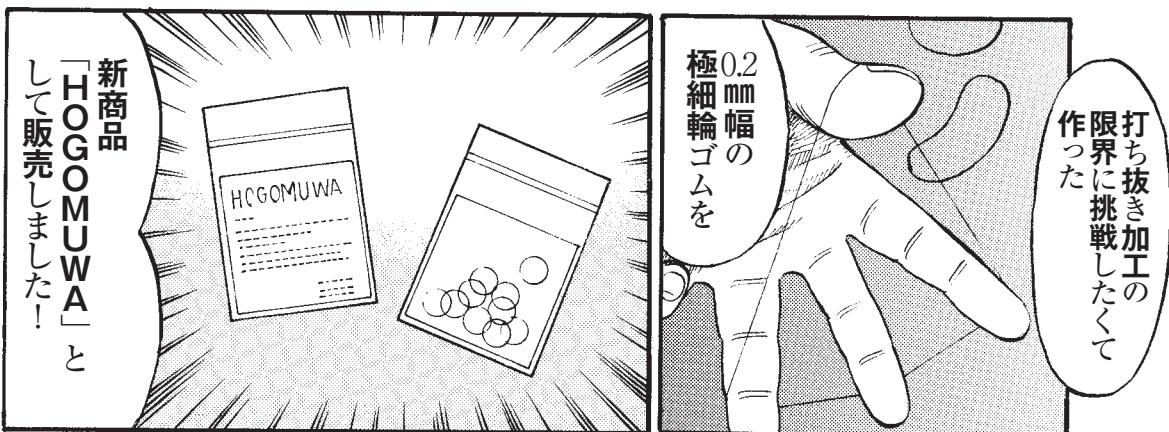
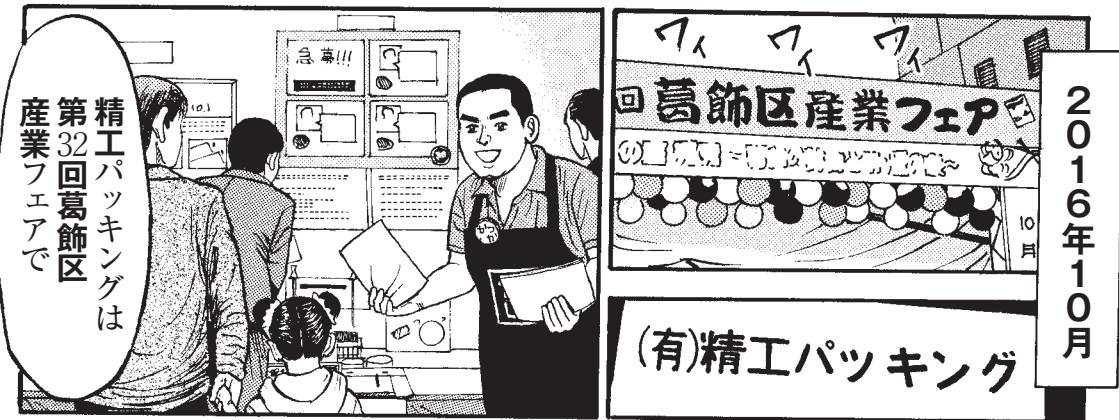
10年ほど前からは自動送り抜き加工機を導入して

我が社が得意とするのは小さな部品、細かくて手のかかるパーツです





2015年7月に
三代目代表取締役に就任



我が社が生き残れたのも
小ロット、多品種に対応できたから

極端な例では
1個、2個から
受注したことも



葛飾区・高砂で
創業して46年

型抜きが出来るものであれば
どんな材質にも挑戦します！

これからも地元企業や人々とのつながりを大切にして

4年後に迎える
創業50周年には

今よりもっと
レベルアップした
体制で
望みたい

ぜひ一度
ご相談
ください！

